

にほん うじがわ せたがわ
日本で宇治川と瀬田川にしかない
+琵琶湖と疎水の一部

スイドウトビケラ

学名 : *Neureclipsis mandjurica*

おおきさは
1センチちょっと

ようちゅう
幼虫

ラッパの
かたちをした巣
(5-10センチ)

海外では trumpet-net caddisfly とよばれる

せいちゅう
成虫

みずうみ
幼虫は湖からながれてくる
ミジンコなどの小動物をたべる

じょうすいじょうけあげ はっけん
90年前に浄水場(蹴上)で発見、
それでスイドウという名前がつく

うじがわ
宇治川にたくさんいることが
さいきんになってわかった



スイドウトビケラがすむのは



^{あさ}浅くてゆっくりとしたながれ



^{いし}石にまるまるした
^す巣がくっついてる



^{なんごう}南郷洗堰から ^{うじばし}宇治橋にかけて
^{かわぎし}川岸ちかくで ^す巣をみつけることができる

^{せいちゅう}成虫は ^{はる}春5-6月と
^{あき}秋9-10月にとぶ
^{かわべ}川辺をとんでは
^{いし}石のうえでやすむ



^{せいちゅう}成虫は ^{しゅうかん}1週間ほどのいのち

なぜ、^{うじがわ}宇治川・^{せたがわ}瀬田川
だけにすむの？

^{じょうりゅう}上流に ^{びわこ}琵琶湖があるため
おだやかな ^{なが}流れ＋
^{しょうどうぶつ}エサの小動物がおおいから